

味の素株式会社

2013年3月期 第3四半期決算概要

1. 決算概要
2. 財政状態
3. セグメント別情報

2013年1月31日

AJINOMOTO® 1.(1) 決算概要

(単位: 億円)

	2012年 4~12月		2011年 4~12月		2013/3期 通期予想 (11/5修正)		進捗率	2012年 10~12月		2011年 10~12月		増減額/率	
	増減額	率	増減額	率	増減額	率		増減額	率	増減額	率	増減額	率
売上高	8,907	▲3%	9,139	▲3%	12,210	73%	2,918	▲6%	3,098	▲6%	▲180	▲6%	
国内食品	3,215	▲5%	3,397	▲5%	4,118	78%	950	▲20%	1,181	▲20%	▲231	▲20%	
海外食品	1,753	2%	1,727	2%	2,503	70%	605	5%	577	5%	28	5%	
バイオ・ファイン	1,464	0%	1,458	0%	2,072	71%	494	5%	472	5%	22	5%	
医薬	559	▲8%	610	▲8%	759	74%	200	1%	197	1%	3	1%	
提携事業	1,381	▲2%	1,410	▲2%	1,931	72%	494	▲2%	502	▲2%	▲8	▲2%	
その他	535	▲0%	537	▲0%	827	65%	175	4%	169	4%	7	4%	
営業利益	609	▲9%	669	▲9%	735	83%	240	▲1%	243	▲1%	▲2	▲1%	
国内食品	292	▲7%	313	▲7%	332	88%	119	▲8%	130	▲8%	▲11	▲8%	
海外食品	154	▲14%	180	▲14%	214	72%	52	▲19%	64	▲19%	▲12	▲19%	
バイオ・ファイン	113	21%	94	21%	158	72%	41	33%	31	33%	10	33%	
医薬	46	▲34%	70	▲34%	26	178%	28	89%	15	89%	13	89%	
提携事業	12	▲0%	12	▲0%	16	77%	5	6%	4	6%	0	6%	
その他	▲9	3033%	▲0	3033%	▲11	78%	▲4	314%	▲1	314%	▲3	314%	
経常利益	658	▲6%	700	▲6%	765	86%	265	3%	258	3%	7	3%	
当期純利益	544	30%	420	30%	470	116%	133	▲18%	163	▲18%	▲29	▲18%	
為替レート	円/USD	79.95	78.98		78.5								
	円/ユーロ	102.04	110.63		100.4								

注) 10~12月実績は、4~12月実績と4~9月実績の差(以下のスライドも同様)

【参考】

(単位: 億円)

	2012年 4~12月		2011年 4~12月		2013/3期 通期予想 (11/5修正)		進捗率	2012年 10~12月		2011年 10~12月		増減額/率	
	増減額	率	増減額	率	増減額	率		増減額	率	増減額	率	増減額	率
売上高													
飼料用アミノ酸	689	6%	650	6%	939	73%	237	9%	217	9%	19	9%	
飼料用アミノ酸以外	8,218	▲3%	8,489	▲3%	11,271	73%	2,682	▲7%	2,881	▲7%	▲199	▲7%	
営業利益													
飼料用アミノ酸	105	19%	88	19%	109	96%	42	32%	32	32%	10	32%	
飼料用アミノ酸以外	504	▲13%	581	▲13%	626	81%	199	▲6%	211	▲6%	▲12	▲6%	



AJINOMOTO® 1.(2) 決算のポイント

カルピス(株)株式売却影響により、10~12月(以下、Q3)減収。
減収影響もあるも、円安傾向により為替影響が好転し、Q3営業利益は前年並み。

売上高・営業利益

(単位:億円)

2012年 4~12月	通期 進捗	前年 増減		2012年 10~12月	前年 増減
8,907	73%	▲3%	売上高	2,918	▲6%
5,914	-	▲2%	売上原価	1,968	▲4%
2,384	-	▲3%	販管費	710	▲13%
609	83%	▲9%	営業利益	240	▲1%

1. 為替影響 (対前年)

換算為替では、

Q3:売上高 21億円、営業利益 3億円

4-12月累計:売上高 ▲128億円、営業利益 ▲18億円

主要法人の貿易為替は、

Q3:売上高 約15億円、営業利益 約10億円

4-12月累計:売上高 約50億円、営業利益 約35億円

2. 原燃料価格影響 (対前年)

Q3:発酵原燃料▲約7億円、国内食品原材料▲約3億円

4-12月累計:発酵原燃料▲約38億円、国内食品原材料▲約4億円

3. コストダウン (対前年)

Q3:国内食品約6億円、医薬約6億円

4-12月累計:国内食品約18億円、医薬約12億円

▲ = 損サイド



AJINOMOTO® 1.(3) 決算のポイント

経常利益

(単位:億円)

2012年 4~12月	通期 進捗	前年 増減		2012年 10~12月	前年 増減
48	-	57%	営業外収支	25	59%
658	86%	▲6%	経常利益	265	3%

純利益

(単位:億円)

2012年 4~12月	通期 進捗	前年 増減		2012年 10~12月	前年 増減
483	-	1085%	特別利益	191	437%
118	-	66%	特別損失	73	101%
428	-	109%	法人税等	231	189%
51	-	13%	少数株主利益	19	28%
544	116%	30%	純利益	133	▲18%

<Q3> (前年比)

* 特記なし

<4~12月累計> (前年比)

* 特記なし

<Q3> (前年比)

* 関係会社株式売却益176億円(176億円増)

* 受取保険金 13億円(18億円減)

* 減損損失 73億円(72億円増)

<4~12月累計> (前年比)

* 厚生年金基金代行返上益 278億円
(278億円増)

* 関係会社株式売却益182億円(182億円増)

* 受取保険金 17億円(14億円減)

* 減損損失 73億円(68億円増)

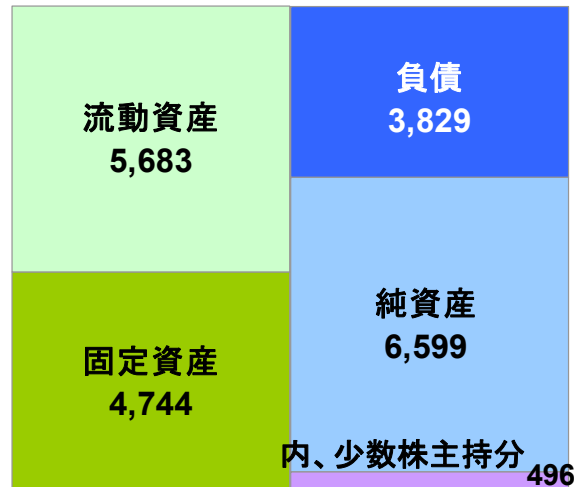
* 投資有価証券評価損 22億円(15億円増)



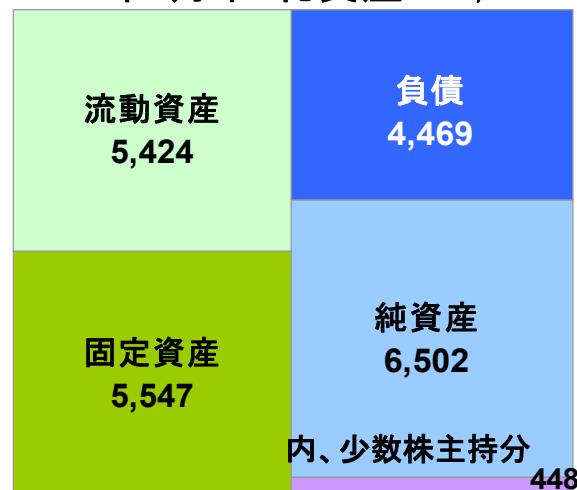
AJINOMOTO® 2. 財政状態

(単位:億円)

2012年12月末:総資産 10,427



2012年3月末:総資産 10,971



2012年3月末に比し総資産543億円減少:

- ・カルピス(株)株式売却に伴う資産・負債の減少
- ・厚生年金基金代行部分の過去分返上による退職給付引当金の減少

キャッシュフロー

(単位:億円)

	2012/12	2011/12	増減
①営業活動によるCF	558	566	▲ 7
②投資活動によるCF	318	▲ 296	614
③財務活動によるCF	▲ 708	▲ 344	▲ 364
④現金および現金同等物の残高	1,634	1,195	439
FCF(①+②)	876	269	606

※▲はキャッシュアウト

	2012/12	2011/12	増減
設備投資	496	353	143
減価償却費	312	322	▲ 10

有利子負債

(単位:億円)

<参考>

2012/12	2012/3	増減	2011/12
1,204	1,300	▲ 96	1,307



3.(1) セグメント別増減

(単位:億円)

売上高

2011年
10~12月

国内食品

海外食品

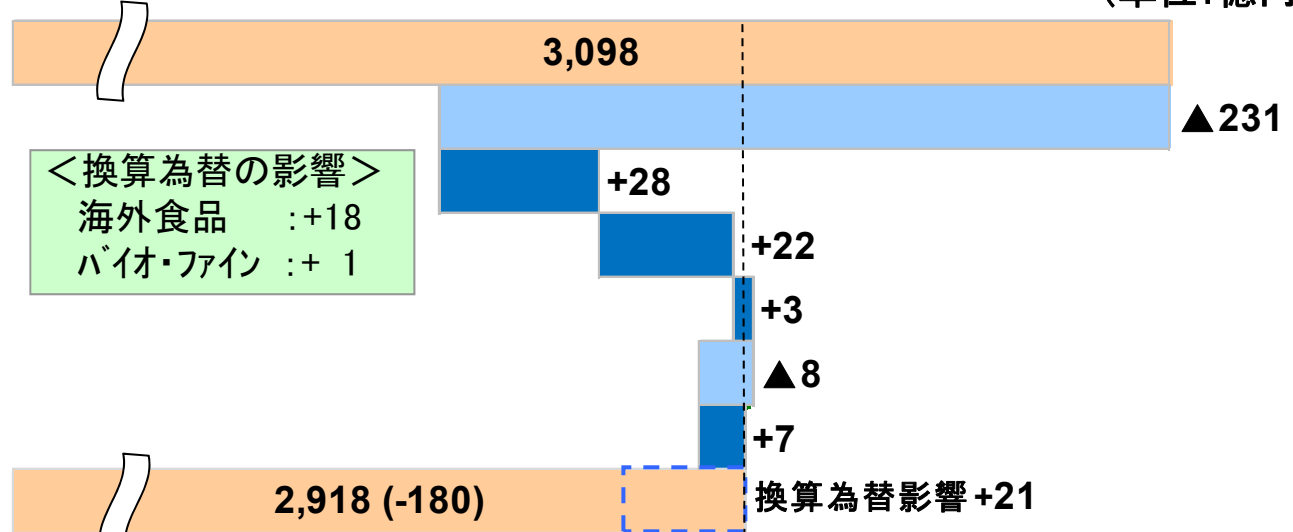
バイオ・ファイン

医薬

提携事業

その他

2012年
10~12月



営業利益

2011年
10~12月

国内食品

海外食品

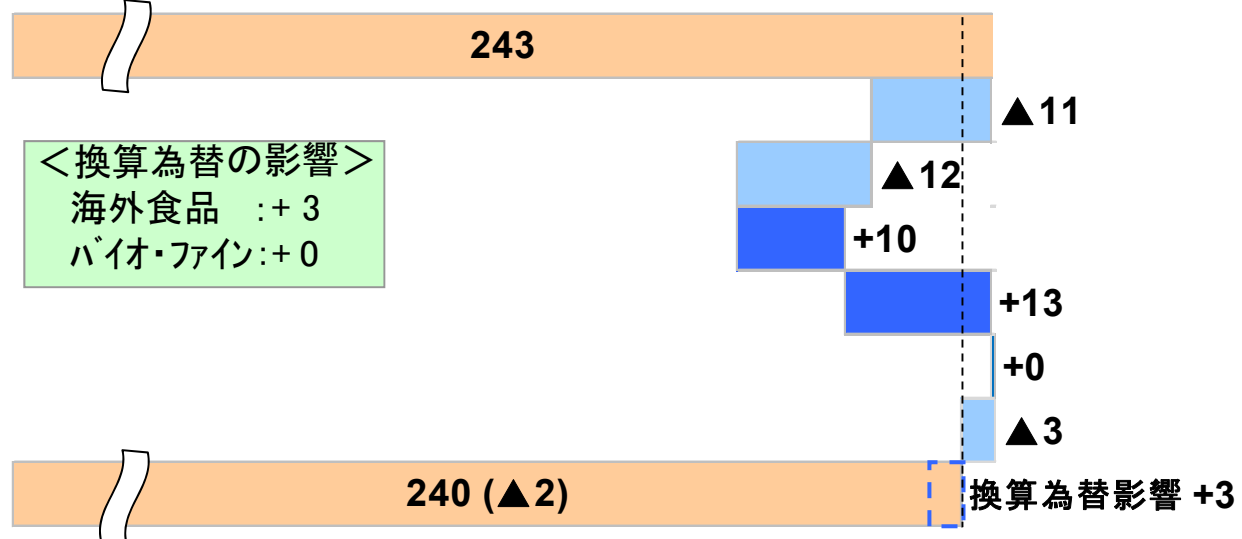
バイオ・ファイン

医薬

提携事業

その他

2012年
10~12月



3.(2) 国内食品事業

(単位:億円)

2012年 4~12月	通期 進捗	2011年 4~12月	増減		2012年 10~12月	2011年 10~12月	増減	
3,215	78%	3,397	▲ 182	売上高	950	1,181	▲ 231	
1,751	-	1,709	42	調味料・加工食品	649	634	15	*1
870	-	845	25	冷凍食品	301	290	11	*2
594	-	842	▲ 249	飲料(「カルピス」)	0	257	▲ 257	*3
292	88%	313	▲ 21	営業利益	119	130	▲ 11	*4
247	-	244	3	調味料・加工食品	112	115	▲ 3	
68	-	67	1	冷凍食品	24	23	0	
48	-	69	▲ 21	飲料(「カルピス」)	▲ 0	11	▲ 11	
▲ 72	96%	▲ 68	▲ 5	全社共通費	▲ 17	▲ 20	3	

*1 家庭用・外食用の調味料・加工食品が前年を上回り、Q3増収。

*2 家庭用の「ギョーザ」や自然解凍品の販売数量増でQ3増収。

*3 カルピス(株)株式売却影響によりQ3減収。

*4 カルピス(株)株式売却影響や調味料・加工食品の販売費増等によりQ3減益。

3.(3) 海外食品事業

(単位:億円)

2012年 4~12月	通期 進捗	2011年 4~12月	増減		2012年 10~12月	2011年 10~12月	増減	
1,753	70%	1,727	27	売上高	605	577	28	
1,422	69%	1,374	48	コンシューマーフーズ*	491	459	32	*1
331	73%	353	▲ 21	加工用うま味調味料	114	118	▲ 4	*2
154	72%	180	▲ 26	営業利益	52	64	▲ 12	*3
▲ 57	79%	▲ 50	▲ 6	全社共通費	▲ 17	▲ 17	▲ 0	

<換算為替の影響> Q3 売上高:+18、営業利益:+3
 4-12月 売上高:▲56、営業利益:▲9

- *1 うま味調味料「味の素」、風味調味料、加工食品の販売数量増と為替の円安傾向によりQ3増収。
 - *2 「味の素」、核酸の販売競争激化で販売単価下落、販売数量も減少しQ3減収。
 - *3 主に加工用うま味調味料の減収及び原燃料価格上昇に伴う採算性悪化でQ3減益。
- 参考(Q3対前年) :コンシューマーフーズ+3、加工用うま味調味料▲13

3.(4) バイオ・ファイン事業

(単位:億円)

2012年 4~12月	通期 進捗	2011年 4~12月	増減		2012年 10~12月	2011年 10~12月	増減	
1,464	71%	1,458	5	売上高	494	472	22	
689	73%	650	39	飼料用アミノ酸	237	217	19	*1
452	-	469	▲ 17	アミノ酸	150	144	6	*2
286	-	298	▲ 12	化成品	93	95	▲ 2	*3
113	72%	94	20	営業利益	41	31	10	*4
105	96%	88	17	飼料用アミノ酸	42	32	10	
20	-	14	6	アミノ酸	1	5	▲ 5	
49	-	55	▲ 6	化成品	14	14	▲ 0	
▲ 41	79%	▲ 36	▲ 6	全社共通費	▲ 12	▲ 11	▲ 2	

<換算為替の影響> Q3 売上高:+1、営業利益:+0
4-12月 売上高:▲71、営業利益:▲9

*1 スレオニン、トリプトファンの販売数量増、単価上昇によりQ3増収。

*2 Q3は医薬用・食品用アミノ酸+7、医薬中間体+5、甘味料▲6。

*3 香粧品はQ3増収。

ケミカルは、電子材料が市場在庫調整の影響を受けたためQ3減収。

*4 主に飼料用アミノ酸の増収影響等によりQ3増益。

参考(Q3対前年):アミノ酸のうち医薬用・食品用アミノ酸+2、医薬中間体▲1、甘味料▲5



3.(5) 医薬事業

(単位:億円)

2012年 4~12月	通期 進捗	2011年 4~12月	増減		2012年 10~12月	2011年 10~12月	増減	
559	74%	610	▲ 52	売上高	200	197	3	*1
46	178%	70	▲ 24	営業利益	28	15	13	*2
▲ 14	80%	▲ 14	▲ 1	全社共通費	▲ 4	▲ 4	▲ 0	

*1 自社販売品は薬価改定影響あるも、「マーズレン」導入が寄与しQ3増収。
提携販売品は薬価改定影響および国内競合品伸長によりQ3大幅減収も、ロイヤルティ収入でカバーし全体でQ3増収。

Q3味の素製薬(株)推定薬価ベース売上(前年同期比)

「リーバクト」40億円(93%)	「アテレック」42億円(87%)
「エレンタール」20億円(98%)	「アクトネル」30億円(82%)
「カーボスター」17億円(125%)	「ファスティック」6億円(58%)
「ソリターT」11億円(95%)	

*2 ロイヤルティ収入、臨床試験費用の発生遅延、自販品の増収によりQ3増益。

3.(6) 提携事業・その他事業

(単位:億円)

2012年 4~12月	通期 進捗	2011年 4~12月	増減	提携事業	2012年 10~12月	2011年 10~12月	増減
1,381	72%	1,410	▲ 30	売上高	494	502	▲ 8
312	-	335	▲ 22	油脂	113	120	▲ 6
1,069	-	1,076	▲ 7	コーヒー類	381	383	▲ 2
12	77%	12	▲ 0	営業利益	5	4	0
▲ 4	76%	▲ 4	▲ 0	全社共通費	▲ 1	▲ 1	0

*1 油脂、コーヒー類共にQ3減収。

(単位:億円)

2012年 4~12月	通期 進捗	2011年 4~12月	増減	その他	2012年 10~12月	2011年 10~12月	増減
535	65%	537	▲ 1	売上高	175	169	7
▲ 9	78%	▲ 0	▲ 8	営業利益	▲ 4	▲ 1	▲ 3
▲ 16	78%	▲ 15	▲ 1	全社共通費	▲ 5	▲ 4	▲ 0

*1 健康ケア事業の増収等によりQ3増収。

*2 健康ケア事業で増益も、カルピス(株)関連業務の終了に伴う物流事業の減益等でQ3減益。



AJINOMOTO® 3.(7) 事業別・地域別売上高

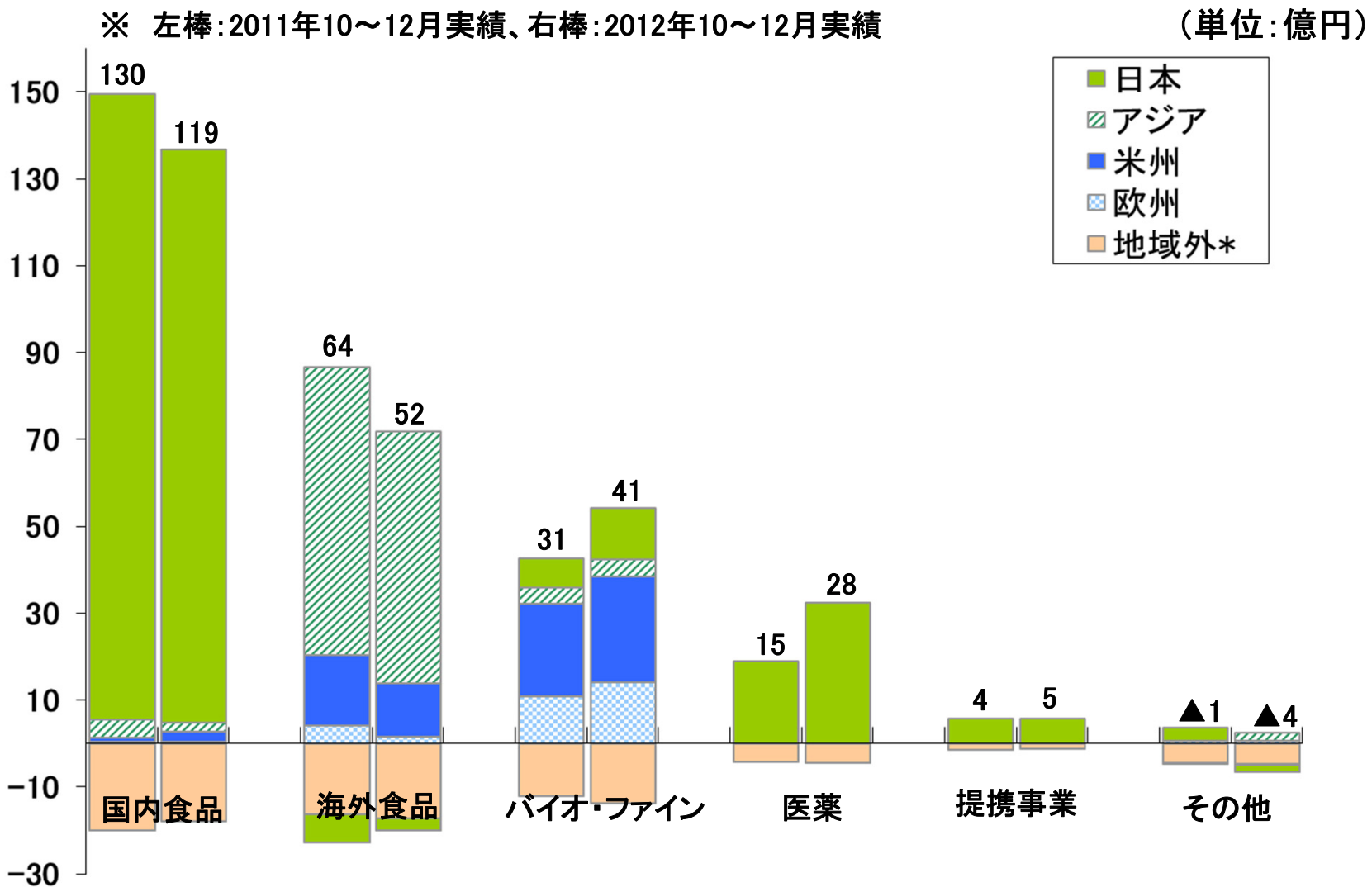
(単位:億円)

※ 上段:2012年10~12月実績、下段:2011年10~12月実績。
()内は増減額

	日本	アジア	米州	欧州	合計
国内食品	913 (▲231)	12 (▲4)	21 (4)	3 (▲0)	950 (▲231)
	1,144	16	18	3	1,181
海外食品	27 (▲3)	408 (24)	105 (2)	65 (5)	605 (28)
	30	384	103	60	577
バイオ・ ファイン	143 (▲3)	36 (12)	161 (▲1)	155 (14)	494 (22)
	147	23	162	140	472
医薬	200 (3)				200 (3)
	197				197
提携事業	494 (▲8)				494 (▲8)
	502				502
その他	155 (2)	20 (4)	0 (0)		175 (7)
	153	16	0		169
合計	1,933 (▲240)	476 (37)	287 (4)	223 (19)	2,918 (▲180)
	2,173	439	283	203	3,098



AJINOMOTO 3.(8) 事業別・地域別営業利益



* どの地域にも反映されていない未実現損益、及び全社費用配賦



AJINOMOTO 3.(9) 事業別・地域別営業利益のポイント

2012年10～12月 対前年同期増減

1. 海外食品

日本: +4、アジア: ▲9、米州: ▲4、欧州: ▲3、地域外*: ▲1 計 ▲12億円

アジア 主に加工用うま味調味料の減収及び原燃料価格上昇に伴う採算性悪化で減少。

2. バイオ・ファイン

日本: +5、アジア: +0、米州: +3、欧州: +3、地域外*: ▲2 計 +10億円

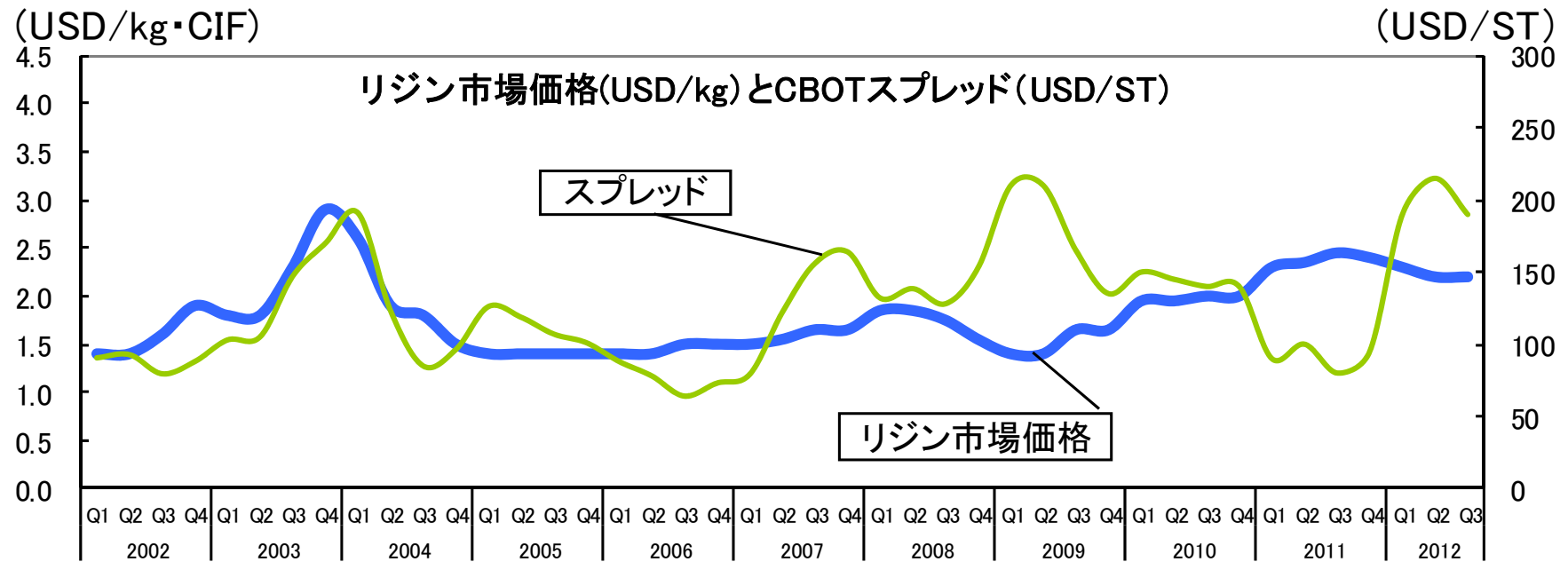
日本 開発費用の効率化等により増益。

* どの地域にも反映されていない未実現損益、及び全社費用配賦



AJINOMOTO 【参考】飼料用リジン市場価格、CBOTスプレッド*推移

*CBOTスプレッド=シカゴ商品取引所の大豆粕とコーンの価格差



おいしさ、そして、いのちへ。

Eat Well, Live Well.

AJINOMOTO®

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、四捨五入で表示しております。